

令和6年度スローガン

笑顔あふれる
「み」みつけよう夢を
「た」高めよう志へ
助け合おう友と
「ち」知恵と
「や」やる気と
「ま」真心で

～いつでも・どこでも・だれとでも～

【ひとり言】

運動会が修了し、
あっという間に6月に突入です。

学校では、6月は
「**児童の行動に注意が必要な月**」
「**問題が起こりやすい月**」
などとして、
認識されています。

これは、
・新しい学級への慣れ
・4月からの疲れの蓄積
・運動会が終わった心の緩み
などが複合的な要因として
考えられます。

この6月を迎え、
子どもたちが不安なく
運動会後の
再スタートを切れるよう、
先週の金曜日に
「**みたち山笑顔アンケート**」を
取らせていただきました。

そこには、
子どもたちの「願い」や「心境」、
「頑張りたいこと」や「悩み」
など、様々な事が
綴られていました。

そこで、次号では、
「**運動会特集**」はお休みし、
「**アンケート結果(概要)**」について
お伝えしていきたいと思ひます。
よろしければ、
ご一読ください。

子どもたち一人ひとりが輝いた運動会(1)

早いもので、令和6年度がスタートして、もう2カ月が過ぎました。

5月26日に開催した**運動会**では、
この2カ月の子どもたちの成長や頑張ろうとする意欲、
また各学級、学年、そして学校全体のまとまりをご覧いただけたのではないのでしょうか？

今日は、子どもたち一人ひとりが輝いた運動会を、子どもたちの言葉でお伝えします。
まずは、運動会を締めくくった、**6年生田川蒼一郎さん**の、
閉会式での「児童代表挨拶」からです。

「助け合おう 仲間と笑顔で GET優勝」私たちは、このスローガンのもと、御館山小70周年となるこの運動会を、忘れられない、悔いの残らないものにするために、今日まで力を合わせて頑張ってきました。

特に私たち6年生は、小学校最後の運動会を「全員が笑顔で終わりたい」という気持ちでいっぱいでした。全校集会で校長先生がおっしゃった「勝ち負けのないところでどう過ごすか」ということを大切に、6年生が、1年生から5年生を引っ張っていきけるようにと、運動会練習をスタートさせました。

「ルー」や「のんのこ」では、練習を繰り返す行中、はげまし合う素晴らしさを感じました。クラスみんなや学年、そして学校みんなが協力している姿を見て、「この御館山小学校はすごいがっこうだな」と思いました。

全校で大きな声を出して応援できたのも嬉しかったです。赤組・白組・青組が競い合いながら、みんなで素晴らしい運動会を作り上げることができたのが、何よりもすごいことだと思います。

大きな声で応援してくださったお家の方々、地域の皆さん、そしてご指導いただいた先生方、最高の思い出をありがとうございました。

御館山小学校の皆さん、この運動会で得たものを大切に、これからの学校生活に活かしていきましょう。

児童代表 田川 蒼一郎

続いては、各学年の子どもたちの作文をご覧ください。

まずは、**リーダーとして全校を引っ張った6年生**からです。ご覧下さい。

最高の思い出になった運動会

6年2組 中尾 幸弘

ぼくは、校長先生がおっしゃっていた「競技以外で何ができるか？」という言葉に胸に運動会に挑みました。

まず、ぼくは応援団として他の学年の応援を行いました。この本番のために、休み時間、昼休み、放課後の時間を使い、応援団のみんなと応援歌の作成、打合せなどをし、本番に備えました。予行練習では、実際にみんなで通したかったのですが、伝達不足で思い通りに進行できませんでした。ですが、この予行練習で課題が見つかり、次の日の朝には役割分担して低学年に教えに行きました。この取り組みを加えたことが、運動会本番での成功につながったと思います。

次にみんなでバトンをつないだ「ルー」についてです。一番最初に通したときはグダグダで、先が見えない状態でした。ですが、体育の時間に練習を重ねたことで、少しずつ上達し、最後の競技にふさわしい、見応えあるルーに仕上がりました。ぼくは、ルーのアンカーを任せられました。ゴール寸前までは2位でしたが、最後の最後に抜かれて3位になってしまいました。負けはしましたが、仲間と協力し、全力で練習に取り組み、全力で走った結果なので、良かったと思っています。

この経験から、校長先生がおっしゃっていた「勝ち負け以外の大切さ」が、実はとても大事なことだとわかりました。それを意識し、それが実感できた、僕にとって最高の運動会となりました。

この運動会特集は、次号以降も継続的に続けていきます。
お楽しみに・・・。